

上に於て最も喫緊の要事であり、而してまた現下の非常時局に處する本會の使命であると信ぜられた次第であります。(註)

(註) 社會政策時報昭和九年十二月號二一四頁

これに見る如く、非常時局に對する根本的方策を考究し樹立することが必要なる問題であり、従つて斯かる時局下に於ける社會政策に關する根本方針を樹立するに必要なる調査研究を行ふこと加、更らためて本會の重大使命として採り上げられた。然し、前時期に設置された時局對策委員會は吉田常務理事の辭任と共に尚幾多の問題を殘して解散し、之に代るべき時局的機關を設置せられた。その第一着手として企てられたものが東北問題臨時調査會の設置であつた。

第二項 東北問題臨時調査會の設置

當時東北地方に起つた冷害凶荒が、時局と關聯して政治問題として採り上げられるに及び、東北問題は單なる地方的な重要問題たるのみならず、國家的な重大問題となつて至つた。即ち東北地方に於ける生活状態が他方地方に比較して著しく劣悪であると言ふことは、其の原因の如何に拘らば、一國治政上の重大問題たることは言ふ迄山可い加、更に社會政策上の立場から見ても緊急に解決せねばならぬ幾多の重要問題を意味する止のとして、各方面よりその解決の急務なることが叫ばれるに至つた結果、政府は東北振興調査會を設置してその對策に奮心し、更に日本學術振興會は東北振興調査委員會なる委員